

医療・介護関係者 各位

一般社団法人 那覇市医師会

会 長 友利 博朗

常任理事 喜納 美津男

担当理事 長嶺 勝

担当理事 嘉数 朗



『ハンセン病の医療に関する研修会 ～地域でのケアについて～』へのご参加について (ご依頼)

時下ますます御清祥のこととお慶び申し上げます。

平素より当会事業につきまして格別の御理解と御配慮を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、我が国では「地域包括ケアシステム」構築の取り組みを推進しており、その一環として、本会では誰もが安心して医療と介護を受けることができる地域を目指し、平成29年4月より、那覇市から「在宅医療・介護連携推進事業」を受託しております。

昨今、高齢化に伴い、ハンセン病の回復者のケアに関し、ますます医療・介護のニーズの増加が見込まれています。しかし、後遺症の傷をケアできる診療所が少なく、遠方の愛楽園まで通院している現状を踏まえ、当事者より住み慣れた地域でのケアが求められています。一方、回復者にはかつての国の隔離政策による差別・偏見に対する恐怖心もあり、受診の際の配慮も必要です。

今回、「らい予防法による被害者の名誉回復及び追悼の日(6/22)」の普及啓発月間に際し、ハンセン病問題の普及啓発および地域でケアが受けられる体制整備を目的に研修会を開催致します。

つきましては、ご多忙の折恐縮ですが、ご参加頂きますよう宜しくお願い申し上げます。

お手数ではございますが、**令和5年6月23日(金)正午までに下記URLもしくはQRコードにて参加の可否をご返信頂きたいようお願い申し上げます。**

記

1. 日 時：令和5年6月28日(水) 午後7時00分～9時00分
2. 場 所：那覇市医師会・4階ホール(那覇市東町26-1)
3. 内 容： 司会：那覇市医師会常任理事 喜納 美津男 先生
 1. 講話『ハンセン病における足の変形に関連したキズ』
貴クリニック 院長 東盛 貴光 氏
 2. 事例『病院受診の課題(仮)』
当事者、解説：沖縄県ゆうな協会 医療・介護の相談窓口担当ソーシャルワーカー
沖縄県医療ソーシャルワーカー協会 理事 樋口 美智子 氏
 3. 実技『ケアの実際について(仮)』
平良 仁雄 氏、ハートライフ病院 創処置ケア専門看護師 宮平 良太 氏
ハートライフ病院 理学療法士 仲村 和也 氏
4. 対 象：医療・介護関係者、行政、支援団体等
5. 申し込み：右記QRコードもしくは、URL：<https://onl.bz/QFMGWed>

※FAXでのご返信をご希望される方は、お手数ですが下記までご連絡ください。

申込みはこちら↓



お問い合わせ先 〒900-0034 那覇市東町26-1

那覇市医師会 在宅医療・介護連携支援センター ちゅいしーじー那覇 担当：高江洲・西銘

TEL：098-860-5666(直通) FAX：098-860-5667(直通) E-mail：z1@naha-med.or.jp